

事業所名

自立支援センターつぼみ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和6年

10月

1日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち一人一人の可能性に目を向け寄り添い、共に歩み生きる良きパートナーであること。 それぞれの良さを尊重し、共に育み未来へつなげる療育の提供を目指す。 			
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族のニーズに寄り添い、信頼関係の構築をベースに丁寧に行き届いた支援を提供する。 一人一人の可能性を最大限に伸ばす一助となれるよう、限られた時間の中で有意義な支援の提供を目指す。 			
営業時間		9時00分から	18時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活スキルの獲得…粗大・微細運動を通して手先の力加減・操作力を向上させ、箸・鉛筆書き・身支度（着脱 ボタン留）動作の獲得へ繋げる。 身辺自立（身だしなみの意識付け）…排泄等の基本的技能の支援 スケジュールボードを利用し、視覚的に分かりやすい表示と時間を意識して行動し、活動リズムを習得する。 持ち物の管理・整理整頓 自己管理能力の向上 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚統合 ビジョントレーニング 姿勢と運動 動作の向上 姿勢保持 体幹の安定 折り紙製作、ハサミ、粘土などで指先の動きをコントロールする力をつける 感覚の特性、過敏・鈍麻への対応 感覚遊びを行う（指先や手、足裏で感覚や感触を感じる取組みを行う。サーキットに取り入れる） 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 作業療育によるマッチング、紐・ビーズ通し、紐結び、バグ差し、タングラム、プットインなどによる数量・大小・色の認識・空間概念形成の習得。 絵カードやタイムタイマーを使用し感覚的に分かりやすく、終始の見通しが持てるように配慮する 対象や外部環境との適切な行動の習得 約束・ルールを理解 タイムタイマーを使い視覚的に分かりやすい指示 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 個別のワークシートを使用し、気持ちの理解、表情、感情の理解を深める取組みを行う 小集団でのゲーム等により楽しみながらルールや勝ち負けの感情のコントロールを学ぶ。・人と関わる楽しさを通して、ルール遵守や感情のコントロールを習得する 発言の機会を設け、自分の気持ちや考えを人前で表現する場を提供する 異年齢や同世代の利用児とのやり取りを経験しながら、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る SSTにて伝える力・聞く力・読み解く力・想像する力を育みコミュニケーションスキルの向上へ繋げる。 フラッシュカード 語彙力の向上 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団での活動や遊びの中でルールを理解し、その場に応じた振る舞いができるよう社会性スキルの向上を目指す。 集団活動を通じて周囲への適切な声掛けや振る舞いを習得し対人スキルの向上へ繋げる。 場面に応じたコミュニケーションスキルや課題への対応方法を学ぶ。 子どもとの信頼感を育み、利用者の感情や不安に寄り添って周囲との安定した関係の構築が出来るよう支援する。 			
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家庭での困りに関する相談援助 モニタリングや面談等 送迎場所や時間調整への協力 		移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関との連携 相談援助
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 学校・関係機関との連携 連携会議の開催 		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の開催 虐待防止研修・委員会の開催 身体拘束適正化研修 等
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節行事 避難訓練（不審者・火災・地震・水害） 			